



国際会長 (IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)

“Mission with Faith”

「信念のあるミッション」

アジア地域会長 (AP) Edward K.W. Ong (シンガポール)

“Through Love, Serve”

「愛をもって奉仕をしよう」

東日本区理事 (RD) 渡辺 隆 (甲府)

「原点に立って、未来へステップ」

“Stand at the origin and take a step for the future”

湘南・沖縄部部長 (DG) 今城 高之 (横浜つづきワイズメン&ウイメンズ)

「一人ひとりが愛と平和の種をまこう」

横浜クラブ会長 (CP) 金子 功

「クラブの伝統に誇りを、明日に自信を」

“Pride and confidence for the future”

会長 金子 功  
副会長 高杉 治興  
書記 伊藤 誠彦  
会計 古田 和彦  
直前会長 天野 皓司

監事 舟田 正夫  
ブリテン 高田 一彦  
担当主事 青木 一弘

＜今月の聖句＞

今村 讚

そして彼らに言われた  
「全世界に出て行ってすべての造られた  
ものに福音を宣べ伝えよ」

マルコによる福音書 16章15節

今月のひとこと

「健康寿命を延ばそう」

古田 和彦



9月21日は敬老の日であった。総務省の統計によると、65歳以上の高齢者数は3,384万人で、日本の人口のおよそ27%を占め、過去最高になった。9月15日時点での65歳以上の高齢者数は男性が1,462万人、女性が1,921万人のあわせて3,384万人で、日本の人口の26.7%を占め、人口、割合ともに過去最高となったとのことである。また、厚生労働省によると、9月15日時点で100歳以上の高齢者は6万1,568人となり、初めて6万人を突破したとのことである。

65歳以上を高齢者と呼んでよいものかとも思うが、いずれにしろ、超高齢社会が到来している。健康で、105歳の男性が100メートルの世界記録(マスターズズカ)を更新したり、1チーム9人の合計年齢が500歳以上の野球チーム同士の試合があったりと、元気な高齢者がいる一方、高齢者の孤独死や医療・介護が十分でなく淋しく困難な晩年を送っているニュースも少なくない。

そこで、70歳を過ぎた小生としては、日常生活で介護を必要としない、いわゆる健康寿命をできるだけ長く保つように心がけたいと思うのである。横浜YMCAのT主事は、昨年から横浜ウォーキングポイント事業に参加し、万歩計を身につけている。日ごろ、駅を一つ遠くまで歩いてから乗るとか、厚木での東日本区大会の時などは、帰途、自宅まで3時間以上かけて歩くなどして、毎日1万歩以上歩いているようで、すっかりスリムに変身している。小生も、遅ればせながら万歩計を身にまとい、1日1万歩を目指し散歩に明け暮れているが、効果のほどはまだ明らかではない。

＜2015年9月例会実績＞

在籍者	出席者	出席率	B F
18名 (功労 会員1 名を 含む)	メン 12名 メネット 1名 コメット 0名 ビジター 2名 ゲスト 4名 合計 19名	71 % (メーキャップ 名を含む) 前月修正出席 率	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 2,443g 現金 0円

## <10月の行事予定>

EMC-E, YES

日	曜	時間	行事内容	場所
8	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
17	土	10:00	チャリティーラン	臨港パーク
22	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y

## <9月例会報告>

伊藤 誠彦

日時：9月10日（木）18:30～20:20

場所：横浜中央YMCA 501号室

出席者：青木、天野、伊藤、今村、大江、押川、刈、金子、齋藤、高田、成瀬、古田、松島

ゲスト：古賀健一郎、高橋悌郎、平岡守、Nguyen Thi Xoai (通称ソアイさん：卓話者)

ビジター：伊藤幾夫（東京コスモス）、林茂博（横浜つづき）

天野ワイズの司会により、金子会長の開会点鐘で定刻に開始。ワイズソング、ワイズ信条唱和、金子ワイズによる聖句。続いて、がん治療から見事復帰され、4ヵ月ぶりの例会出席になった松島ワイズの喜びのご挨拶、6名ものゲスト、ビジターの紹介があった。金子ワイズの食前感謝と食事。



卓話中のソアイさんとサポータの平岡先生

今年2月の第二回日本語スピーチコンテストにも出場している。美しい民族衣装アオザイでドレスアップし、平岡先生に付き添われ、質疑応答時間も含めて約30分間ベトナムの文化、生活、観光について、スライド映像を使用しながら紹介してくれた。

ベトナムの国土は南北に長く日本の国に似ている（今迄そのように感じたことが無かったので、これはチョット意外な指摘であったが、言われてみればその通りだ）。人口は約9千万人。通貨はドン。ちなみに街中の食堂でフォーと呼ばれるベトナム麺を食べると3万ドン（約150円）だとか。

交通手段はバイクが中心、それも日本製が多数派。

その他、観光地として世界遺産にもなっているハロン湾、サイゴン大教会、メコン川観光クルーズなどが美しい映像とともに紹介された。

卓話の後のビジネス終了後、伊藤幾夫ワイズのご紹介で先の納涼会に引き続き参加していただいた古賀さんと高橋さんに一言づつ頂いた後、林ワイズから部会とYou & Iコン



求めに応じてアオザイを披露するソアイさん

今例会の卓話は横浜YMCA日本語学科のベトナム人留学生ソアイさんによる「私の国ベトナムの魅力」。ソアイさんは今年2月の第二

サートのアピールがあった。

その後、今期、部のユース事業主査を務められる天野ワイズに対して今城部長からの委嘱状が届けられた。

## 「第19回湘南・沖縄部部会」

高田 一彦

9月26日16時から、渡辺隆理事を初めとする13人のビジターを含め60人余で湘南・沖縄部部会がワークピア横浜で開催された。独特のレイアウトの座席指定（後の分科会の区分け）で、林部書記の司会の下、今城部長の点鐘で開始され、ワイズソング、ワイズの信条、相賀牧師による聖書朗読・祈祷が行われた。ビジター紹介があった後、今城部長の挨拶では、「皆で参加するプログラムを考えているが、来年の5月に一泊の部研修会を持ちたい」との発表があり、横浜クラブの一泊研修会を思い起こした。続いて渡辺理事の本年度への部活性化へのメッセージと、田口横浜YMCA総主事の挨拶があった。サプライズとして田中直前理事が登場し、ブースター賞（4名以上の入会を達成したワイズメンに贈呈される国際の表彰）のメダルが峯尾直前部長に授与された。関東・東北豪雨及び東日本大震災の復興支援募金としての献金が行われ、講演会に移った。



今城部長の挨拶

「ボランティア活動の勧めとその喜び」と題して、岡戸良子氏（横浜YMCA常議員、清泉女学院ボランティアセンター長）より、ワイズのエンブレムに因んで、多角的なワイズの働きを紐解き、ボランティア活動を通しての「つながり」が生み出す多様な価値を認識し、ワイズ活動とボランティア活動を通して生き方発見の喜びに至るのではないかと示唆に富んだ講演であった。続いては、部会としてはユニークな



横浜クラブ参加者

取り組みで、地域奉仕事業・会員増強事業・国際交流事業・ユース事業の4つに分かれての分団協議が行われ、短時間ではあったが、事業主査を中心に活発な議論が交わされた。因みに、筆者が参加したのは天野事業主査の主導するユース事業であったが、「先ずユースの事業を良く理解して、その対象を認識して事業の展開をしよう」とのハンズアウトが配られ参加メンバーの意見が交わされた。

第二部の懇親会は、生井担当主事の司会で、辻つづきクラブ会長の挨拶で始まり、会食と交流の一時を持った。各クラブのパフォーマンスやその他のアピールがあり、最後はYMCAの歌に続いて若木次期部長（横浜とつか）の閉会点鐘で定刻の8時に幕を閉じた。横浜クラブ参加者は、天野、伊藤、刈、金子、齋藤、高田、田口、古田、松島の9名。



## 湘南・沖縄部第2回役員会報告

金子 功

9月26日(土)湘南・沖縄部に先だって午後2:00より、部会と同じ会場のワークピア横浜において第2回役員会が開催された。この役員会は次次期部長選考委員会を兼ねるもので最初に選考方法について協議した。部則に従った手順を踏んでない事に異議も出たが、結論として輪番の考慮から厚木クラブで検討し部長に答申することとなった。

役員会の議案は以下の通り：

- 1) CS/Yサ支援金支給額決定に関する件  
地域奉仕事業主査提案の6クラブ(横浜、沖縄那覇、つつか、厚木、金沢八景、つづき)の申請書が審議され、すべて承認された。支援総額は昨年より1万円多い17万円。
  - 2) Y-Y's 合同新年会について  
日時: 2016年1月16日(土) 18:00~20:00、つづきクラブがホストクラブとして準備することに合意。
  - 3) 沖縄部長公式訪問に関する件  
日程: 2016年1月29、30日、又は30、31日とし、第2回部評議会を同時に行う方向で部長が現地クラブと調整することに合意。
  - 4) 部研修会に関する件  
2016年5月連休後の週末を候補日として、富士山YMCA、三浦ふれあいの村、上郷・森の家のいずれかで実施する部長提案に対する各クラブの意見を11月15日までに取りまとめることに合意。
  - 5) 次年度部会日程に関する件(次期部長提案)  
2016年10月1日~2日、又は9月24日~25日、三浦ふれあいの村で実施する提案に各クラブで検討し意見をまとめることに合意。
  - 5) 部会献金贈呈先に関する件  
部会の献金を関東・東北豪雨被災者救援と東日本大震災復興支援に半額ずつ寄付することを承認。
- 金沢八景と沖縄クラブの会長を除き出席義務者全員が出席した。

### 「第28回ユースボランティア・リーダーズフォーラム」

天野 皓司

第28回ユースボランティア・リーダーズフォーラムが、9月11日から二泊三日で東京YMCA山中湖センターにて開催された。このフォーラムはYMCAのボランティアリーダーの研修と交流の場で、ワイズメンズクラブが全面的に資金援助しているユース事業の一つである。経験2年未満のリーダーを対象として、寝食を共にしながら「リーダーの役割」「YMCAの働き」等について考え、学ぶことを狙いとしている。

今期、湘南・沖縄部のユース事業主査を担当することになったこともあって、日帰りではあったが参加する機会を得た。参加したリーダーは34名、内横浜Yからは各ランチ合わせて7名が参加した。フォーラムを通しての講師は江東ワイズメンズクラブの篠田秀樹さんが担当し、延べ34名のワイズメンが参加した。今までフォーラムの名前を聞いた程度の知識しかなかったが、これほど多くのワイズがフォーラムを

支えていることを知って、頭の下がる思いであった。

一日だけの参加であったが、グループ活動の中間報告では、思い思いの形で発表し合い、静寂のうちに始まったキャンプファイヤーでは、歌にゲームと大いに盛り上がった。その昔少年部のキャンプファイヤーを思い出し、チョットしみみりした。



ワイズメンズクラブの最大のミッションはYMCAを支えること、それは他ならぬユースを支えることだと思ふ。そのために我々がユースの中に飛び込むことが必要で、このようなフォーラムの意義があるのだろう。願わくば彼らがYに戻って、ここでの体験を生かして活躍されることを！

最後に、キャンプファイヤーの感動を胸に、後ろ髪を引かれる思いで暗闇に沈む山中湖畔を後にした。

### 「ポンコツからの近況報告」

神村 浩正



一昨年食道癌の内視鏡手術を受けているが、四ヶ月毎に検診を受けているが、再発あるいは悪化の兆候は見られず年を取ると病状の進行が遅くなるためかと首をひねっている。しかし、念のために検査しようということで、PET/CTという

検査を受けたが、これは癌に限らずなんらかの疾患があれば、その部分が赤く表示されるという検査で、その結果、肺・気管などに注意を要するという影が発見された。しかし精密検査の結果、癌ではないと診断されたし、肝心の食道には現在のところ異常なし、との診断である。

ところが、最近視力が衰えてきたと思うので検査を受けたところ白内障が進行中で手術した方が良いとのことで、先週両目とも手術を受けたが片方の目の方が、依然としてぼやけて見える。クレームし精密検査してもらったところ、老人性〇〇〇とか言う眼底にちいさな突起が出来る病気で治療は困難だとのこと。生活に支障がある程のことではないので、車でも年をとるとポンコツになるさと諦めている。

### 近況報告

遠藤 喜七



このところの、大雨により、全国的に多大な被害を受けている状況です。

私も、仕事上、マンション管理を担当させて頂いている関係で、小さな被害ですが、多忙な今日この頃です。マンションも35年以上経過しますと、わずかな外壁のヒビ割れで、部屋に漏水したり、多量の雨水が排水しきれず、マンションの地下、庭がプールになり、床上浸水を興すなど、緊急対応に追われて状況です。又、ベランダの排水詰まりで、階下に漏水する事故もあり、ベランダの排水の清掃を各戸にお願いしているところです。現在は、管理組合理事に改善修理の相談している状況です。

原因は、地球全体が、温暖化の為に、言われて居ります。今後、地震、大雨、台風、竜巻、津波など、自然災害がどのような現象で、我々の生活に襲って来るか、判断できません。人類が叡智を絞って少しでも安全な生活が出来るよう対応しなければならぬと思う今日この頃です。それには、日々の生活で、先進国の一人、一人が、温暖化対策に応じ、行動しないと実現は出来ないと、感じる今日この頃です。

## 第二例会報告

金子 功

日時：9月24日（木）16:00～17:30

場所：横浜中央YMCA 501号室

出席者：天野、伊藤、古田、金子、斉藤、高田

報告、協議、確認事項

- 1) 今後の行事予定の確認
- 2) CS/Yサ支援金申請書提出の確認
- 3) 9/26第2回部役員会及び部会プログラム内容、クラブ参加者等の確認
- 4) 10/8第1例会プログラム(YVLF参加者の報告及び大高治氏入会式) 確認
- 5) 10/17チャリティーラン、当日ボランティアについて協議確認
- 6) 10/24金沢八景クラブ10周年記念祝会の対応について協議
- 7) 横浜YMCAが行う緊急災害支援(ミャンマー洪水及び常総市水害被害)に対する支援について協議
- 8) 十勝ジャガイモの配達計画(横浜訓盲学院及び水上学園)について協議
- 9) 横浜クラブ会則並びに細則の見直しに関する今後のスケジュールを協議

尚、第2例会終了後、8階の横浜クラブロッカーの収納物を5階の書棚に移動する作業を行った。18:30に終了。



担当主事 青木 一弘

### ●東日本豪雨災害緊急支援募金

関東・東北で記録的な豪雨により、鬼怒川堤防が決壊し茨城県常総市の市街地が冠水して から9月17日で1週間となりますが、約2,000人が依然避難所で生活しています。(9月16日時事通信)。

横浜YMCAは、9月16日現地調査として、茨城YMCAと協働し、常総市にある水海道教会ボランティアセンターと常総市災害ボランティアセンターを訪問しました。水海道教会にある二葉こども園も被災しているため、教会の集会所を使いながら保育再開を目指しています。

横浜YMCAは、現地の復旧と日常をいち早く取り戻すため、茨城YMCAと協働し、常総市への支援ボランティア派遣と、水海道教会二葉こども園を通じた被災家庭の支援や子どものケアを進めるため、緊急支援募金を開始いたします。みなさまのご協力を、よろしくお願い申し上げます。

募金期間9月19日(土)～10月31日(土)

### ●ベトナムフェスティバル in 神奈川

神奈川県とベトナムとの間では経済や人材など多方面にわたり交流が深まっており、特にベトナムからの留学生など若い世代の方々が急増しています。こうした中、神奈川県とベトナムと両地域の相互理解と交流を目的に神奈川県内の関係団体等による「ベトナムフェスティバル in 神奈川」が9月18日～20日の3日間の日程で開催されました。

地域に生活しているベトナムの人びとを知ってもらう機会と、ベトナム人留学生を受け入れている学校を紹介する機会として、横浜YMCAも出展・参加協力として日本語学校といずみ保育園が参加をしました。

横浜YMCA学院専門学校/YMCA健康福祉専門学校では、日本語学科(ベトナムの留学生を中心に運営)の学生によるベトナムの紹介(写真展示)、アオザイの紹介、伝統的なゲームを紹介し、YMCAいずみ保育園では、園児30人によるベトナムの歌や踊りの発表をしました。この交流イベントの実施を通じて交流を促進するとともに身近にベトナムを感じる良い機会となりました。

### 10月例会プログラム

日時：10月8日(木) 18:30～20:30

場所：横浜YMCA 501号室

司会：松島ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶 ..... 金子 会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 ..... 全員
3. 今月の聖句 ..... 今村ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介 ..... 金子会長
5. 入会式 (大高治ワイズ)
6. 食前感謝 ..... 今村ワイズ
7. 卓話 「まずくてありがとう」 長谷川真由美氏  
日本笑い学会会員、国際ユーモア学会会員
8. ビジネス・報告 ..... 会長、他
9. *Happy Birthday* : 遠藤喜七(7)
10. 閉会点鐘 ..... 金子会長

例会報告：大江ワイズ

## 11月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
10	火		ワイズデー	
12	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
23	月	9:00	中央Yウエルカムフェスタ	中央Y
26	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは横浜YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール [aoki\\_kazuhiro@yokohamaymca.org](mailto:aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org)

電話 046-641-5785